



おおくす

【かしこく やさしく 元気よく】

怒ることと叱ること

校長 田原 健児

本校では、「誉めて伸ばす教育」を提唱していますが、校長の私自身、児童をタイミングよく、適切な言葉で誉めることができず、「ほめ上手」になる難しさを痛感しています。しかし、もっと難しいのは「叱る」です。

私は、担任時代に「怒ることばかりで、叱ることが十分できていなかった教師だった」と今では自己反省しています。

では、「怒る」と「叱る」はどう違うのでしょうか。「怒る」は感情であり、「叱る」は理性だと考えます。つまり、「怒る」は自分の気持ちや感情を相手にぶつけることであり、「叱る」は自分の考えや判断を相手に伝え理解させることだと思うのです。

子供が間違いを犯した時は、その子の間違いを正すために、その子に自分の行動の間違いを認めさせ、正しい対処法を理解させることが一番の目的のはずです。そんな時、自分の感情をぶつけて怒っても、子供は「怒られた」という嫌な気持ちしか残りません。だからこそ、私たち大人は感情を抑えて、「いけないことはいけない」と毅然とした対応をし、「自分のどこがいけなかったのか」、「自分はどうすべきだったのか」を冷静に話し、考えさせることが大切だと思うのです。それが、子供の次の行動につながるのだと思います。

今私は子供を叱る時、できるだけその子の話を聞くようにしています。子供の考えをしっかりと聞き取り、その上で大人として、教師としての自分の考えを子供に伝え、考えの違いをすり合わせながら、反省が促されるようにし、次からは正しい判断と行動が行えるように話すことに努めています。ぜひ、皆さんも「怒る」のではなく「叱る」ようにしていただけたらと思います。ご自身の考えを冷静にしっかりと子供に伝え、納得させ、反省を促してほしいと考えます。

では、「怒る」ことはいけないことなのでしょうか。決してそんなことはありません。私は「命に関わること」「人権に関わること」そして「自分の絶対に譲れないこと」については自分の感情をおき出しにして「怒り」、子供と向き合います。どんな理由があろうと許せないからです。ですが、それ以外は腹が立つことがあっても、冷静になるよう自分に言い聞かせ、「叱る」ようにしています。

「怒る」こと、「叱る」こと、どちらも簡単ではありませんが、私たち大人が普段から意識して子供と接することで、子供の正しい成長を見守ることができるのだと思います。



《地域が育むかごしまの教育県民週間》 授業参観・学校保健委員会

今年も県民週間に「心の教育授業参観」を実施しました。仲間や思いやりについて考える機会が持てたと思います。

また、学校保健委員会では、NPO法人がんサポートかごしまから三好綾先生に「命の授業」として御講演頂きました。県民週間の期間、来校して子どもたちの様子を参観いただいた皆様ありがとうございました。



避難訓練（火災）～命を守る学習～

消防署の方に避難の様子を見て頂き、火災時の心構えや消火訓練の指導をしてもらいました。消防車や救急車の装備について説明してくださいました。

火災の発生しやすい時期になってきました。防災への関心が高めていきましょう。



陸上記録会好成績 入賞おめでとう！

水泳記録会で好成績だった5・6年生が陸上記録会（10月18日開催）でも一人一人が自己ベストを上回るように精一杯頑張りました。入賞した児童を紹介します。

【5年生男子】

800m	2位	菊永 龍臣	2分50秒2
走り幅跳び	3位	青木 勇汰	3m58
ソフトボール投げ	3位	東垂水 仁平	47m71
400mリレー	3位	1分04秒7	(菊永龍臣・青木勇汰・塗木健晟・東垂水仁平)

【5年生女子】

100m	5位	木村 みはる	16秒8
ソフトボール投げ	2位	中木原 珀花里	42m70

【6年男子】

60mハードル	1位	田之上 結斗	11秒9
	3位	菊永 叶星	12秒2
走り幅跳び	3位	前原 蒼貴	3m53
400mリレー	6位	1分03秒4	(前原蒼貴・菊永叶星・東垂水賢信・田之上結斗)

【6年女子】

走り幅跳び	5位	衛藤 凜花	3m26
-------	----	-------	------

今後の行事予定

- 12月 1日(金) 校内人権週間(～7日)
 - 5年生宿泊学習休養措置日
- 7日(木) 校内持久走大会(予備日11日(月))
 - 学級PTA・家庭教育学級
- 22日(金) 2学期終業式(給食あり)
- 23日(土) 冬休み(～1月8日)
- 1月 9日(火) 3学期始業式(給食あり)
 - いじめ問題を考える週間(～15日)
- 12日(金) 席書会
- 15日(月) 学校評議員会
- 16日(火)・17日(水) 鹿児島学習定着度調査(5年生)
- 18日(木) 学級PTA

